

## I 情報交流事業

### 1 機関誌の発行

機関誌「海外投融資」を隔月年6回刊行し、主として以下のとおり内容の充実と読みやすい誌面作成に取り組み、海外投融資に関する実務的・解説的情報提供を行った。

- (1) 時宜を捉えた特集テーマ (ESG (5月号)、ポストコロナ (7月号)、EU (9月号)、ニューノーマル (11月号)、米中対立 (1月号)、再生可能エネルギー (3月号)) で当事者による手触り感のある寄稿・インタビューを掲載
- (2) 海外を中心としたベンチャー企業を紹介する「JOI Ventures」を連載化。
- (3) 読者の関心の高い連載 (変動する欧州最前線レポート、岐路にたつ中国、アイデアを価値化する、World Cuisine 等) を継続。
- (4) 当財団が主催する自主企画セミナー及び弁護士事務所が登壇したセミナーの抄録

### 2 セミナー

会員企業のニーズを踏まえ、新型コロナウイルスの影響・関連するリスク管理、再生可能エネルギー (洋上風力等)、各国投資環境 (米中貿易摩擦、アフリカ等)、水素、M&A 及びイノベーションなど、テーマのバランスを意識しつつ、賛助会員及び有識者による講演なども織り交ぜながら、オンラインも活用し、計61回開催したほか、他団体・特別会員主催のセミナーへの後援等を通じて、情報提供を行った。

また、会員企業により専門的・実践的な情報ニーズに応えるべく、洋上風力発電やイノベーションをテーマとした少人数制の特別講座 (有償) を計6回実施した。

また、既存ノウハウを活用し、セミナー・アレンジメント業務の受託も行った。

### 3 企業研修

会員である法律事務所とタイアップし、会員企業の要望を踏まえたテイラーメイドの企業向け研修を企画し実施した。

### 4 インターネットによる情報提供サービス

JOI オンライン短信として、旬な話題をタイムリーにメール配信した (今年度は19回配信)。ホームページ上にて、機関誌のデジタル配信、セミナー資料・動画の掲載・配信、及び各国大使館・投資誘致機関情報の掲載を通じた、海外投融資に関する情報・コンテンツの充実化を図った。

## II 調査研究事業

### 1 自主研究

当財団調査部スタッフが洋上風力発電に係るレポート「東南・南アジアの洋上風力導入拡大と制度設計の動向」を作成し販売した。また、同レポートに基づく特別講座に講師として登壇した。

また、昨年度に引続き、国際金融機関の概要を纏めた「国際金融機関便覧」の2021年版を作成した。

### 2 委託調査

外部より調査研究委託を受け、主に以下の調査を実施した。

- ▶ 再生エネルギーセクター調査
- ▶ デジタルインフラ調査

➤ 海外省エネルギー事業環境調査

以 上